

新婦人しんぶん

新日本婦人の会目的

- ☆核戦争の危険から女性と子どもの生命をまもりまします。
- ☆憲法改悪に反対、軍国主義復活を阻止します。
- ☆生活の向上、女性の権利、子どものしあわせのために力をあわせまします。
- ☆日本の独立と民主主義、女性の解放をかちとりまします。
- ☆世界の女性と手をつなぎ、永遠の平和をうちたてまします。

◆次回の発行は、4月11日号です。

今週の紙面

- 2面 声明/女性ニュース/国会スポーツ
- 3面 読者のページ/まんが/俳句
- 4・5面 主要食糧法改悪のねらいと産直運動の役割/女性 働く/ホットライン
- 6面 食事情/大軍拡/時事・クローズアップ
- 7面 新婦人の活動/主張/母の歴史



新日本婦人の会は国連に認証されたNGOです。あなたも一緒に

憲法前文を読みあげる(北海道)



戦争をとめる

日本国憲法を読んでみよう

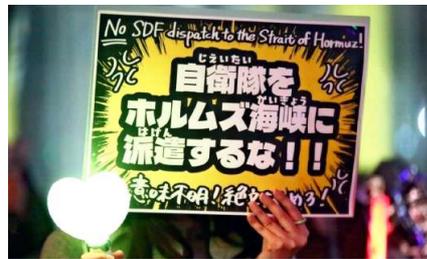
日本国憲法 前文

日本国民は、正当に選挙された国会における代表者を通じて行動し、われらとわれらの子孫のために、諸国民との協和による成果と、わが国全土にわたつて自由のもたらす恵沢を確保し、政府の行為によつて再び戦争の惨禍が起ることのないやうにすることを決意し、ここに主権が国民に存することを宣言し、この憲法を確定する。そもそも国政は、国民の厳粛な信託によるものであつて、その権威は国民に由来し、その権力は国民の代表者がこれを行使し、その福利は国民がこれを享受する。これは人類普遍の原理であり、この憲法は、かかる原理に基くものである。われらは、これに反する一切の憲法、法令及び詔勅を排除する。

日本国民は、恒久の平和を念願し、人間相互の関係を支配する崇高な理想を深く自覚するのであつて、平和を愛する諸国民の公正と信義に信頼して、われらの安全と生存を保持しようと決意した。われらは、平和を維持し、専制と隷従、圧迫と偏狭を地上から永遠に除去しようと思つて、この国際社会において、名誉ある地位を占めたいと思ふ。われらは、全世界の国民が、ひとしく恐怖と欠乏から免かれ、平和のうちに生存する権利を有することを確認する。

われらは、いづれの国家も、自国のことのみに専念して他国を無視してはならないのであつて、政治道徳の法則は、普遍的なものであり、この法則に従ふことは、自国の主権を維持し、他国と対等関係に立たうとする各国の責務であると信ずる。

日本国民は、国家の名誉にかけ、全力をあげてこの崇高な理想と目的を達成することを誓ふ。



国会前で、色とりどりのペンライトの波が続く

上と左は、北海道で。新婦人のよびかけて250人が集まった

「見たことない光景！」国会周辺はペンライトをもった女性たちが続々と駆けつけ、1万1千人にふくれあがりました。日米首脳会談(2面、声明)を直前に控えた19日夜、全国各地で「イラン攻撃やめろ」「改憲するな」と声をあげ、「憲法が派兵をとめて」と憲法を読み上げる行動があちこちで。緊迫が続くイラン情勢のもと、列島すみずみから憲法カフェを広げ(2面)、平和の仲間みんなで高市政権の暴走をくい止めましよう。

